

令和5年度は総合計画後期事業実施計画の初年度となり、将来都市像の実現に向け、着実に事業を推進します。
特に重点事項として、地域創生まちづくり戦略と横断施策に取り組みます。

● 地域創生まちづくり戦略

戦略Ⅰ リニアを活かす戦略



リニアの宿場を創る

リニア岐阜県駅と中部総合車両基地ができるというアドバンテージを最大限に活かし、その波及効果を市域のみならず広域に行き渡らせ、持続的な発展と快適で便利な暮らしの実現を目指します。

土地区画整理事業によるリニア岐阜県駅周辺での面的整備の着実な実施	1,102,939千円
リニア駅へのアクセス機能の充実に向けた市内幹線道路網の整備	798,136千円
新たな産業の集積地となる中津川市西部テクノパークの着実な整備	187,035千円
中心市街地のにぎわいの拠点となる「ひと・まちテラス」の運営開始	80,183千円
商店街仮想マップなどを活用した中心市街地の集客力と回遊性の強化	1,000千円
中心市街地まちづくりビジョンを実現させるアクションプランの策定	6,000千円
広域連携を実現する(仮称)神坂PAスマートインターチェンジの整備	505,803千円
新たな交通サービスと集落内拠点による地域の活性化	8,746千円

戦略Ⅱ 若者の定住戦略



若者の定住

安心して子育てできる環境を整え、出生率を高めるとともに、市民の市外流出の抑制と子どもを産み育てる若者世代の市内への移住を促進します。

市内の「すご技」をもつ企業を小中学生が見学し、市内企業の魅力を体験	2,250千円
地域の将来を担う職種（医療、介護、保育、農林業など）への就学支援	64,126千円
大手食品メーカーと連携し、市内企業の健康経営を推進	1,000千円
UIターン住宅の設置地域に家を建てる子育て世帯への定住支援	1,500千円
「ひと・まちテラス」に未就園児一時預かりを行う子育て支援センター開設	5,800千円
新婚世帯の市内での住宅取得や東京圏からの移住を支援	36,200千円

戦略Ⅲ 人が集い、安心して暮らせる戦略



地域を守る災害に備える

地域で安心して暮らし続けられるよう、人口減少に伴うさまざまな変化に柔軟に対応し、地域コミュニティの活力を高める施策や事前防災の推進などに取り組み、市民の安全・安心な暮らしを守ります。

域学連携拠点「coagari」の活用、学生と地域が連携した地域づくりの推進	5,569千円
公共交通の利用促進と地域交通網の維持	72,215千円
災害時に必要となる組み立て式トイレを指定避難所に配備	1,453千円
東濃5市による共同運用を目指す通信指令センターの実施設計に着手	16,539千円



交流・学び・にぎわいの拠点
ひと・まちテラス

7月15日オープン!

貸館予約が始まっています⇒5ページ

詳しくは市ホームページをご覧ください。

ホーム>市政情報>財政>予算>令和5年度予算



● 基本施策

将来都市像「かがやく人々 やすらげる自然 活気あふれる中津川」を実現するため、各分野の事業を推進します。

人々がかがやくまち

- 坂本地区小中学校の共同調理場の整備に向け実施設計などに着手 143,000千円
- 救急車手配時に医師や看護師に相談できる「救急安心センター」の導入 758千円
- 「ひと・まちテラス」内に図書館を拡張移転、図書館機能の充実 95,669千円

やすく自然に生まれたまち

- 再生可能エネルギー、次世代自動車導入への補助を拡大 33,350千円
- 動物愛護団体などと連携した猫の適正飼養推進や不妊去勢手術費用の助成 7,703千円

活気あふれるまち

- 市民の生活に不可欠な生活道路の整備 430,080千円
- にぎわいプラザの廃止に向け行政機能の一部移転と会議棟の建設 234,740千円

● 横断施策

- 多様な人材が活躍できる地域社会の醸成を推進します。
- DX（デジタルトランスフォーメーション）、SDGs、ゼロカーボンを推進します。

